

事務局からのお知らせ



1. 行事報告

(1) 国際会議

The 15th World Hydrogen Energy Conference
 平水素エネルギー協会および NEDO 主催
 平成 16 年 6 月 27 日～7 月 2 日
 パシフィコ横浜国際会議場にて開催。(79 頁参照)

(2) 第 113 回定例研究会

平成 16 年 9 月 9 日 (木) 13:30 より大阪ガス
 NEXT21 ホールにて開催。講演は、「水素製造技術
 の最近の動向」と題して大阪ガス株式会社 技術部
 ECO エネルギー技術開発チームマネージャー 東隆
 行氏、「定置用 PEFC システムの開発状況」と題
 して三菱重工業株式会社 技術本部広島研究所 PEFC
 開発センターセンター長 野島繁氏によってなされ
 た。講演予稿は、本誌に資料として掲載されている。
 燃料電池の住宅実地使用試験地区の見学会も行われ
 た。参加申込者数 60 名 (団体会員 22 名、個人会員・
 学生会員 20 名、非会員 18 名)

(3) 団体会員特別見学会

平成 16 年 10 月 13 日 (水) 13:20～17:30
 財団法人日本自動車研究所 燃料電池安全評価試験
 棟を見学。見学者数 49 名。

(4) 第 24 回水素エネルギー協会大会

平成 16 年 12 月 10、11 日、日本工業大学にて開
 催。口頭発表 40 件、ポスター発表 32 件。参加申込
 者数 203 名 (団体会員 55 名、個人・学生会員 32 名、
 協賛会員 (含学生) 50 名、非会員 (含学生) 66 名)

(5) FC EXPO2005 「第 1 回国際燃料電池展」(共催)

1 月 19 日 (水)～21 日 (金) 東京ビッグサイト
 東展示場にて開催。240 社出展。基調講演会 1500 名
 以上出席。

2. 行事予定

(1) 第 114 回定例研究会

平成 17 年 2 月 18 日 (金) 13:30～15:50
 学士会館。「SOFC 開発の最近の動向と基礎科学的話
 題」東北大学多元物質科学研究所融合システム部門
 教授 水崎純一郎 氏、「固体高分子電解質を用いた電
 気化学プロセスの行方」(独)産業技術総合研究所関
 西センター所長代理 竹中啓恭 氏による講演。

(2) 8th Asian Hydrogen Energy Conference

(旧呼称・日韓水素エネルギーシンポジウム。韓
 国と日本が 2 年置きに開催、今回より中国含め
 3 カ国。)

Date: 26-27 May, 2005

Place: Tsinghua University, Beijing, China

URL: www.hess.jp、Email: secretary@hess.jp

(3) 後援・共催等行事

・エネルギーフォーラム (後援)

愛知県、環境パートナーシップ CLUB 主催
 2 月 4 日 (金)

名古屋産業技術記念館

・第 42 回日本伝熱シンポジウム (共催)

(社) 日本伝熱学会主催

6 月 6 日 (月)～8 日 (水)

仙台国際センター

・2005 年国際博覧会記念 風力再生型自然エネルギー
 ・燃料電池国際会議&見本展 (後援)

WWEA, ISES, IHA, AHE, 静岡県主催

6 月 7 日 (火)～10 日 (金)

アクトシティ浜松

・再生可能エネルギー2006 国際会議 (協賛)

再生可能エネルギー2006 国際会議組織委員会

2006 年 10 月 10 日～13 日

幕張メッセ

(4) 国際会議情報など本協会ホームページをご覧下
 さい。 www.hess.jp

3. 入退会 (平成 16 年 6 月 1 日～12 月 31 日)

(1) 新入会会員

- ・団体会員：(担当者)
 - 理研計器株式会社 (石地 徹)
 - 石油資源開発株式会社 (茶木 一壽)
 - 株式会社四国総合研究所 (三木 啓史)
 - 株式会社大倉理研 (秋山 真木男)
 - 田中貴金属工業株式会社 (古川 久)
- ・個人会員：(所属機関名)
 - 宮越 栄一 (日曹エンジニアリング株式会社)
 - 塚田 剛 (株式会社エンジニアリング社)
 - 小川 靖雄
 - 武松 敏式
 - 小澤 正基 (核燃料サイクル開発機構)
 - 増田 亜 (時事通信社)
 - 高木 英行 (独立行政法人 産業技術総合研究所)
 - 諏訪 好英 (株式会社大林組)
 - 荒川 忠男 (グリーンプラトウ)
- ・学生会員 : なし

(2) 退会会員

- ・団体会員：なし
- ・個人会員：なし
- ・学生会員：なし

(3) 現在会員数

- ・団体会員： 48 社
- ・個人会員：131 名 (休会 1 名含む)
- ・学生会員： 3 名

4. 会員増強に対するお願い

国内外では以前にもまして水素エネルギーに対して熱い目が向けられてきております。そこで、この機会をとらえますますの会員の増強をはかり、更に活動の充実を図りたいと考えております。会員の関係者で、水素エネルギーに興味のある方または応援して頂けそうな方々にお声を掛け入会のお誘いをして頂けたら有り難いと思っております。本会の活動及び入会の案内は、本紙の後半に記載されてお

ますので、宜しくお願い致します。

5. 水素エネルギーニュース発行について

年 2 回の会誌の発行のみでは、なかなか水素に関する情報をタイムリに会員の皆様にお届けできないという反省に基づいて、水素エネルギー協会編集委員会では、「水素エネルギーニュース」を不定期の発行ですが皆様にお届けしております。ご期待頂きたいと思えます。また、会員諸氏からの忌憚りの無いアドバイスを心よりお待ちしております。併せ、情報の提供をして頂けたら幸いです。連絡先は、下記「広告掲載のお願い」の欄に記した所です。

6. 資料の掲載について

メーカーが自社の製品(ただし、水素エネルギーに関するもの)を有料(1 万円/頁:最大 3 頁)で紹介出来るページを設けました。是非とも皆様および関係者の参加をお願い致します。

7. 広告掲載のお願い

会誌及び水素エネルギー協会大会予稿集に掲載する広告を募集しております。1 頁当り 3.5 万円です。ご希望の方は、下記編集委員会事務局までご連絡下さい。

連絡先：

横浜国立大学 教育人間科学部内
 水素エネルギー協会 編集委員会事務局
 担当：谷 生重晴、米富美登代
 TEL：045-339-3996
 FAX：045-339-3996
 E-mail：secretary@hess.jp
 Web：www.hess.jp